

算数A 平均正答率(79.2%)

【小学校 算数】A 主として「知識」に関する問題

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式		正答率 (%)		集約率 (%)	
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数量や図形についての表現・処理	数学的な考え方	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	広島県(公立)	全国(公立)
1(1)	2.43 - 6.5 を計算する	繰り下がりのある減法の計算をすることができる	○						○			90.2	88.2	0.2	0.2
1(2)	0.75 + 0.9 を計算する	小数の加法の計算をすることができる	○						○			77.3	71.3	0.3	0.3
1(3)	9.3 × 0.8 を計算する	小数の乗法の計算をすることができる	○						○			85.4	83.7	0.3	0.4
1(4)	6 ÷ 5 を計算する	商が小数になる除法の計算をすることができる	○						○			89.7	88.3	0.9	1.4
1(5)	16 - (6 + 3) を計算する	() を用いた整数の計算をすることができる				○			○			95.2	94.4	0.5	0.8
1(6)	2と5/7 + 1と1/7 を計算する	同分母の分数の加法の計算をすることができる	○						○			91.7	88.9	1.1	2.1
1(7)	2/9 × 4 を計算する	乗数が整数である場合の分数の乗法の計算をすることができる	○						○			90.6	89.5	1.1	1.7
2	一万の位までの概数にしたときに、20000になる数を選ぶ	示された位までの概数にする際、一つ下の位の数を四捨五入して処理する方法について理解している	○						○			62.9	60.2	1.5	1.9
3	除数と商と余りから被除数を求める式を選ぶ	余りのある除法の場面において、被除数を求める式について理解している	○						○			75.0	71.6	1.1	1.8
4	AとBの2つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ	単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解している	○						○			50.7	50.0	0.5	0.8
5(1)	木のまわりの長さを測定する際に用いる計器を適切に選ぶ	曲線部分の長さを測定する際に用いる適切な計器を理解している	○						○			97.8	97.4	0.3	0.4
5(2)	1a (1アール) と等しい面積になる正方形の辺の長さを選ぶ	1a (1アール) の面積と等しい正方形の辺の長さを理解している	○						○			55.0	52.3	0.8	1.1
5(3)	上底3cm、下底8cm、高さ4cm、斜辺5cmの台形の面積を求める式と答えを書く	台形の面積の求め方を理解している	○						○			77.8	73.3	1.4	2.1
6	三角形ABCと合同な三角形をかきことができる条件を選ぶ	三角形ABCと合同な三角形をかきするために必要な条件を理解している				○			○			61.6	60.7	0.7	1.0
7(1)	展開図に示された側面の長方形の縦の長さを書く	円柱について、見取図の高さと展開図の側面の辺の長さとが対応していることを理解している				○			○			91.8	90.6	1.4	2.1
7(2)	展開図に示された側面の長方形の横の長さを書き求める式と答えを書く	円柱について、底面の円周の長さと展開図の側面の辺の長さとが対応していることを理解している				○			○			69.3	66.3	4.2	5.7
8(1)	200cmの50%に当たる長さを選ぶ	割合が50%のとき、基準量と比較量の大きさの関係を理解している				○			○			77.0	76.7	1.6	2.2
8(2)	500gの120%に当たる重さについて、適切なものを選ぶ	割合が100%を超えるとき、基準量と比較量の大きさの関係を理解している				○			○			78.8	76.9	2.1	2.8
9	最小目盛りが2に当たる棒グラフから、借りた本の冊数が一番多い曜日とその曜日に借りた冊数を書く	棒の長さで最小目盛りに着目して、数値が最も大きい項目とその数値を読み取ることができる				○			○			87.7	85.7	2.1	2.8

算数B 平均正答率(61.3%)

【小学校 算数】B 主として「活用」に関する問題

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式		正答率 (%)		集約率 (%)	
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数量や図形についての表現・処理	数学的な考え方	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	広島県(公立)	全国(公立)
1(1)	残りの乗り物券の枚数と乗る予定の乗り物を基に、二人がまだ乗る予定にない乗り物に乗ることができる乗り物を書く	情報を整理し、筋道を立てて考え、三つの条件全てに当てはまる乗り物を判断することができる	○						○			53.4	51.0	2.4	3.1
1(2)	三つの乗り物券の買い方を比較して、どの買い方が一番安いかわかりやすく、そのわけを書く	三つの買い方の中から最も安くする買い方を選択し、その選択が正しい理由を記述できる	○						○			58.9	50.8	0.7	0.9
2(1)	示された式の値が何を表しているのかを書く	示された平均を求める式から、その計算の結果が何を表しているのかについて理解している	○						○			51.7	51.7	2.9	3.4
2(2)	正しく測定できなかった結果を除いて平均を求めるとき正しい式を選ぶ	飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を選択することができる	○						○			76.8	75.6	1.0	1.3
2(3)	示された実験の結果から、ふりこの長さ10往復する時間が比例の関係になっていないことを表の数値を基に書く	表から数値を適切に取り出して、二つの数量の関係が比例の関係ではないことを記述できる	○						○			40.9	35.2	14.4	19.0
3(1)	三人の児童の説明に対応する、長方形を4等分した図をそれぞれ選ぶ	図に示された分割の仕方とその説明とを対応させることができる	○						○			88.1	87.3	0.6	0.8
3(2)	示された分け方が元の長方形を4等分していることと説明として、二つの三角形の面積が等しいことを書く	示された分け方で二つの三角形の面積が等しくなることを記述できる	○						○			48.1	42.7	11.4	15.6
3(3)	4等分になるための条件の中で、台形では当てはまらないわけを選ぶ	長方形と台形の分割の仕方を比べて、台形の場合は4等分にならないわけを選択することができる	○						○			57.7	56.3	3.2	3.6
4(1)	ワールドカップ後の1試合当たりの観客数がワールドカップ前の1試合当たりの観客数の約何倍になるのかを求めるときの方法と答えを書く	単位量当たりの大きさなどに着目して、二つの数量の関係の求め方を記述できる	○						○			47.3	43.1	8.9	11.4
4(2)	5列10番の座席の位置を基に、2列4番の座席の位置を表す	示された情報から二つの要素の意味を解釈し、ものの位置を特定することができる				○			○			94.6	94.2	2.5	2.6
4(3)	示された式を基に北チームの勝ち点の合計を求める式を書き、勝ち点の合計と順位を書く	示された式に数値を当てはめて計算し、計算の結果の大小を基に判断することができる				○			○			53.9	50.6	6.0	7.4
5(1)	棒グラフと折れ線グラフの両方が示されたグラフの説明に対して、その説明がグラフのどの期間を示しているのか、正しいものを選ぶ	棒グラフと折れ線グラフの両方が示されたグラフから、必要な情報を読み取ることができる				○			○			77.3	76.1	4.5	5.1
5(2)	棒グラフに示された割合と基準量の増加を読み取り、インターネットの貸出冊数の増減を判断し、そのわけを書く	割合が同じで基準量が増えているときの比較量の大小を判断し、その判断の理由を記述できる				○			○			47.8	44.4	7.0	7.8